

1. 母性健康管理措置等について

(関連資料 1～2 参照)

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置及び助成金制度について

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、妊娠中の女性労働者の母性健康管理を適切に図るため、男女雇用機会均等法に基づき、令和2年5月7日に新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置を設けたところである。本措置については、その後3回適用期限が延長され、現在は令和5年3月末までであるが、今後半年程度の延長を予定している。

また、本措置により、妊娠中の女性労働者に有給の特別休暇を取得させた事業主に対する助成制度を設け、都道府県労働局において支給しているが、この助成金についても、本措置の適用期間の延長に合わせて、期間の延長や要件の変更を予定しているので、指針の改定後、改めて周知をお願いする。

(2) 母性健康管理指導事項連絡カードの利用促進について

妊娠中の女性労働者に対する医師等の指導事項を事業主への確に伝えるための「母性健康管理指導事項連絡カード」については、母子健康手帳の配付時や、母親学級・両親学級等での周知等に格別の御協力をいただいております。引き続き活用が図られるよう、今後も周知広報について御協力をお願いする。

2. 不妊治療と仕事との両立について

(関連資料 3 参照)

不妊治療と仕事との両立支援については、令和4年4月から、次世代育成支援対策推進法に基づき、不妊治療と仕事との両立に取り組む優良な企業に対するプラス認定制度を創設して、多くの企業の取組を促しているところ。

事業主や人事労務担当者等に向けたマニュアル等の作成・配布やオンラインでの研修会等を、令和5年度も実施する予定。

また、都道府県労働局においても、事業主や労働者等に対する周知啓発や相談対応を実施することとしているので、各自治体に置かれている不妊専門相談センターとの連携について引き続きよろしくお願いする。

新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置について ～男女雇用機会均等法に基づく指針(告示)を改正～

- 新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、妊娠中の女性労働者は、職場における作業内容等によって、新型コロナウイルスの感染に大きな不安を抱える場合があり、その心理的なストレスが母体・胎児の健康保持に影響を与えるおそれがある。
- 母と子という「2つの生命」を守るという観点、そして少子化対策としても、妊娠中の女性労働者が、安心して妊娠を継続し、子どもを産み育てられるような環境を整備することが重要。
- このため、妊娠中の女性労働者の母性健康管理を適切に図ることができるよう、妊娠中の女性労働者の母性健康管理上の措置として、新型コロナウイルス感染症に関する措置を新たに規定。

母性健康管理措置とは

- 妊娠中・出産後1年以内の女性労働者が、母子保健法の保健指導・健康診査(妊婦健診等)の際に医師又は助産師から指導を受け、それを事業主に申し出た場合、その指導事項を守ることができるようにするために必要な措置(通勤緩和、休憩、症状等に関する措置(作業の制限、勤務時間の短縮、休業等))を講じることが事業主に義務付けられている(男女雇用機会均等法第13条)。

新型コロナウイルス感染症に関する措置 (令和5年3月31日まで)

- 事業主は、令和5年3月31日までの間、その雇用する妊娠中の女性労働者から、保健指導又は健康診査に基づき、当該女性労働者の作業等における新型コロナウイルス感染症に感染するおそれに関する心理的なストレスが母体又は胎児の健康保持に影響があるとして、医師等によりこれに関して指導を受けた旨の申出があった場合には、当該指導に基づき、作業の制限、出勤の制限(在宅勤務又は休業をいう。)等の必要な措置を講ずるものとする。

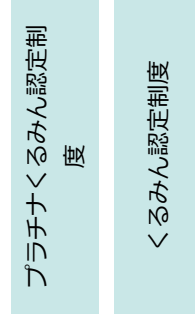
適用期間

令和2年5月7日から令和5年3月31日まで

くるみん「プラス」認定の創設(不妊治療と仕事との両立に係る基準の追加)

改正内容

<改正前>



<改正後> (令和4年4月～)



次世代育成支援の取組を行う企業に、不妊治療と仕事との両立に関する取組も行っていただくインセンティブを設ける観点から、くるみん、トライくるみん、プラスなくるみん、プラスとして新たな類型「プラス」を設け、認定基準に「不妊治療と仕事との両立」に関する基準を追加する。

※「不妊治療と仕事との両立」に関する基準の認定については、くるみん、トライくるみん、プラスなくるみんの申請を行う際の必須基準ではなく、くるみん、トライくるみん、プラスなくるみん、プラスなくるみんの認定基準のみの認定申請を行うことも可能。

認定基準

不妊治療と仕事との両立に関する認定基準は、以下の基準とする。

※ くるみん、トライくるみん、プラスなくるみん、プラスなくるみんは共通のもの。

<不妊治療と仕事との両立に関する認定基準>

- ・ 次の①及び②の制度を設けていること。
 - ① 不妊治療のための休暇制度(多様な目的で利用することができる休暇制度や利用目的を限定しない休暇制度を含み、年次有給休暇を除く。)
 - ② 不妊治療のために利用することができる、半日単位・時間単位の年次有給休暇、所定外労働の制限、時差出勤、フレックスタイム制、短時間勤務、テレワークのうちいずれかの制度
- ・ 不妊治療と仕事との両立に関する方針を示し、講じている制度の内容とともに社内に周知していること。
- ・ 不妊治療と仕事との両立に関する研修その他の不妊治療と仕事との両立に関する労働者の理解を促進するための取組を実施していること。
- ・ 不妊治療を受ける労働者からの不妊治療と仕事との両立に関する相談等に応じる両立支援担当者を選任し、社内に周知していること。